

2月12日(日)

山口県周防大島の風味豊かな

赤なまこ

1パック

680(税込)円

西田鮮魚店 ☎72-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

最近ほコメント書く事が激減している祐宗が、今回ご紹介する食材は赤なまこ(今なまこ)が非常に美味しくていただけます。3月いっぱい迄でしょうか？風味豊かで歯応えと口の中に広がる磯の香り。そして海の高麗人蔘と言われるくらい栄養満点!!

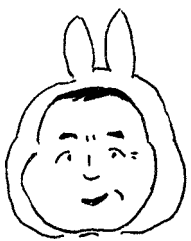
自分もなまこなら食べ続けれると思ひ、食べ続け1ヶ月チャレンジ。食べたら身体にどういふ変化があるか?...

続いたのは7日間笑。流石に食べ飽きた。いつもボン酢かけて食べたが、他に食べ方が見当たらない。身体の状態は?と聞かれるとよくわからない。良いと思ひたい。いや良い!!そんな自問自答を繰り返しながら今回広告に!もちろん赤なまこを販売致します。

西田鮮魚店 店長 祐宗 優司

『百葉箱はどこにあった？』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



携帯がなって発信者を見ると、定光大燈とある。

「えっ何事？」電話をもらうことなど、ほとんどない。

定光大燈さんは西楽寺のご住職。私の同級生の定光大海君のお兄さん。大海君のあだ名は『こぼちゃん』。彼は、学年で一・二を争う秀才で脳外科医になり、今も現役のはず。こぼちゃんに何かあったのかと、すこし緊張気味に電話に出る。「もしもし、お久しぶりです。」

お兄さんの声は、しごくのんびりしている。悪い電話ではないみたいだ。じゃあ何？しばらく世間話。そして、

「庄原中学校に百葉箱があったでしょ。あれ、どこにあったか覚えてらん？」

実は、去年の11月のこの手紙で庄原中学校の模型の話を書いた。あの時も百葉箱の話が出て、結局、あいまいなまま終わっていた。だから、すぐに話は呑みこめはしたのだが、なんで、定光のお兄さんが？

それを察しられたのか、中学校の模型を作っている人がいて…と経緯を話される。手紙で紹介した土岡さんの他にもいらっしやるんだ。その人が、百葉箱がテニスコート付近にあって覚えているのだが、正確にはどのへんだったかとテニス部だったお兄さんに聞いて来られたらしい。講堂の側だったか、駐輪場の側だったかと。

お兄さんも自信がなく、友だちの大原さんに電話すると、大原さんは、あの時のこの手紙のことを覚えていて、西田君に聞けばいいと答えられたのだとか。それで、電話をしたことだが私も自信がない。期待に添えずに謝って電話は切った。

それが、頭の片隅にずっとあって、何日かして、この4月に予定している私たちの学年の同窓会の打ち合わせに来た柳原さんに聞いてみた。彼女もテニス部だったはずだし、私たちより、よっぽど、しっかりしている。彼女は、さすがに明確に言い切った。講堂側。ただ、正確に、ここだとは言えないので、まだお兄さんには連絡はしていない。

中学校にしても、小学校にしても、自分たちを育ててくれた学校が跡形もなくなるといのは、ほんとに寂しいものだ。グラウンドだけでも残っていればと思うが、そうもいかないのもわかる。ならばと、模型で復元を試みようとするのだろう。記憶を埋めるために。

そういう意味では、同窓会もそうなのかもしれない。みんなで集まって記憶を呼び覚まし記憶を埋める。めで、この4月。

まわりから見ると、私たちの学年は仲よしでいつも集まっているように見えるらしい。当の私たちはそう思わないのだが、当時の生徒会長の伊藤博明君（あだ名は『一休』）のお兄さんが、そう言って感心されていたとか。悦子も結婚してしばらくは、「また？」とあきれていた。

最近では10年前の還暦のときに、これが最後の同窓会だといって開いたが、5年後に、またやった。さすがにもうないだろうと思っていたら、去年の年末に今は、原宿でデザイン会社を経営している伊藤君から電話があり、古希の同窓会をやることになった。55年たった今でも生徒会長だ。

年をとったら、一日は長いが一年は短いという。そのとおりで、もう5年もたったのかとびっくりする。もつとも、姿かたちはそうをつかない。5年前の同窓会の写真を見た。たしかに5年の歳月はたっている。

『古希記念 最後の晩餐 同窓会』そう名付けた。最後の晩餐とは縁起でもないという声もあったが、しゃれ。75才で

やるときには『最後の最後の晩餐』とかすればいい。

4月1日（土）にやろうという私の提案に「それはいかかなものか」と反対の声もあった。同窓会は、盆か正月と相場が決まっている。それを、よりによって4月1日とは、というわけだ。

それはそうだが、と私は、そのわけを述べる。

①同級生全員が『古希』になっているのは3月31日。早生れは、正月ではまだ69才だ。盆にすれば、4月〜8月生れは71才だ。それでは古希記念にはならない。4月1日生れはいないから、この日がいちばん。

②若いころは、家では私たちが迎えてもらう側。いてもいなくても、なんてことなかった。しかし、今は子どもたちを迎える側。ホストがいなくては話にならない。盆や正月に家をあけている場合じゃない。

③ほとんどの人が仕事の第一線から退いている。もちろん、大半の人が仕事はしているけど、昔のように、盆休みとか正月休みとかでなくても、休みは取りやすい。

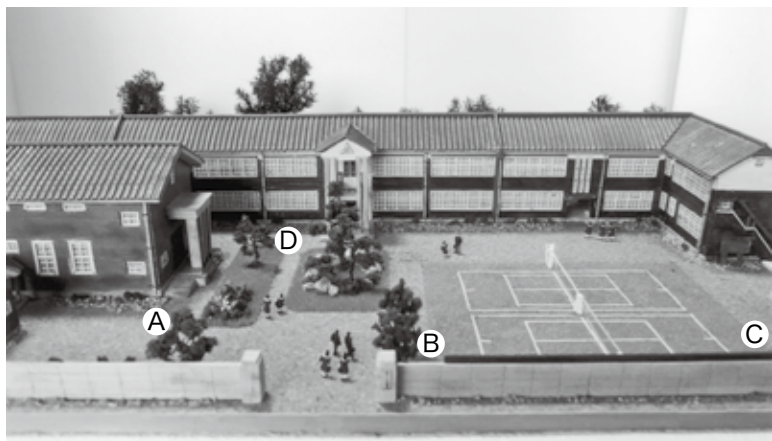
④上野池の桜がきれい
ということ説得してこの4月1日に開催することになった。

驚くのは、前日に、20名近くの同級生が集まってゴルフをするということ。当然、ゴルフのあと二次会（遊膳らしい）、たぶんその後、3次会（太閤かな）。本チャンの同窓会に大丈夫かと思う。なにせ、70才なのだから。

それだけならまだしも、その後があるのだ。同窓会の翌日、4月2日（日）。グラウンドゴルフをやるという。ゴルフは男ばかりらしいから、女子のことも考えたのだろう。えらい。しかし3連チャンも当然いるだろう。しつこいようだが70才だ。すごい。みんな元気だ。私はゴルフもグラウンドゴルフもしないので一日だけ。なんか負けたような気がする。

今から案内を出す。卒業生141名。その内9名が鬼籍に入った。何人来てくれるだろう。一度も顔を出していない人、住所がわからず連絡をとれない人、会いたいものだ。

校舎はない。でも、みんなの記憶のなかに校舎はある。百葉箱がどこにあったのか。たぶん、はっきりすると思う。



前の前の庄原中学校
どこに百葉箱があったのだろう？